

2021年8月 教会行事予定表			
	曜	午 前	午 後
1	日	ミサ9:30（楽山・蘭岳参加）	
2	月		
3	火		
4	水		
5	木		入門講座 18:00
6	金		
7	土	ミサ 10:00 掃除当番蘭岳地区	
8	日	集会祭儀9:30 （太平洋・白鳥参加）登別教会ミサ 10:00	
9	月		
10	火	全道司祭会議	
11	水		
12	木		
13	金		
14	土	ミサ 10:00 掃除当番蘭岳地区	
15	日	ミサ 9:30 聖母の被昇天（白鳥・太平洋参加）	
16	月		
17	火		
18	水		
19	木		入門講座 18:00
20	金	入門講座（登別教会）10:30	
21	土	ミサ 10:00 掃除当番蘭岳地区	
22	日	集会祭儀9:30（楽山・蘭岳参加）登別教会ミサ 10:00	登別教会墓参
23	月		
24	火		
25	水		
26	木		入門講座 18:00
27	金		
28	土	ミサ 10:00 掃除当番蘭岳地区	
29	日	ミサ9:30（太平洋・楽山参加）	
30	月		
31	火		

2021年度7月からの主日のミサ・集会祭儀各地区対応表				
週	項目	7月	8月	9月
第1主日	ミサ	太平洋・楽山	楽山・蘭岳	太平洋・白鳥
第2主日	集会	太平洋・白鳥	太平洋・白鳥	蘭岳・楽山
第3主日	ミサ	白鳥・蘭岳	白鳥・太平洋	蘭岳・楽山
第4主日	集会	蘭岳・楽山	楽山・蘭岳	太平洋・白鳥
第5主日	ミサ		太平洋・楽山	
	掃除当番	楽山	蘭岳	太平洋

（注） イ、集会祭儀時は、各主日初めに書いてある地区が司会、朗読を、ミサの時は朗読を務めます
口、掃除は、当日参加した人が当番に関係なく協力して実施する
ハ。指定日に参加出来ない時は、他の地区でも参加自由です



2021
7/11

ひとつになるう

カトリック東室蘭教会広報誌 毎月第2日曜発行



カトリック東室蘭教会

〒050-0073

室蘭市宮の森町4-9-7

☎0143-44-3851



外見も中身も、一人一人違うのが当たり前
「私は私 一人一人違って当たり前」という見出し活字が目に残りました。（南日本新聞2021年7月5日朝刊） 「私は初対面の人に、いつも同じ質問をされます。『どこのハーフ?』。茶色の髪、茶色の目、真っ白い肌。目立ちたくなくても目立ってしまう」と投稿している、鹿児島県さつま町在住の高校2年生のご意見です。その生徒さんは小川慈英さんといいます。彼は、その投稿文の中で、「居心地はよくない」「小学生の頃はコンプレックスでしかなかった」「いじめに遭うかも」と不安に思っていたといいます。ところが、彼の不安に反して、これまでいじめられたことがないのです。「それはとても幸運だったし、周りの友達や環境に感謝している。ありのままを認めてくれる友達のおかげで、私のコンプレックスは今、半分くらい『自信』に変わってきている。『私は私』、そう思える」と記しています。彼の外見を、仲良くなるための、理解するための接点として質問してくれるのはうれしいと言います。そして、彼が言いたいことは「外見も中身も、一人一人違うことが当たり前。そういう考えが、早く世の中の『当たり前』になってほしい」ということです。一人ひとりが違うということは、だからこそ、一人ひとりの存在は価値があるし、尊い存在なんだというのではないのでしょうか。

自分を知れば他人のことも大事にできる

小川慈英さんが投稿した同じコラム「ひろば・若い目特集」の欄に、鹿児島大学1年の長谷川遥さんの投稿文もあります。彼は、「大学生活は、自己理解をしていく期間にしたい」と意志表示しています。「自分を知る」ということは、自分を大事にすることであり、それにより、他人が分かるということでもあるでしょう。つまり、そのような人は、他人をも大事にしていく人になっていくということです。

自分を知り他者を大事にした典型はイエス
その視点から考えますと、イエスほどに自分のことを知り、他者を大事にした人はいないでしょう。このことを弟子たちにも十分に見せ、伝え、弟子たちも不完全ながらも、だからこそ、イエスへの全き信頼を大事に、派遣されていくのです。

弟子たちが派遣されるまでに至ったのは、それまでのイエスと弟子たちのかかわりにあるといえます。そもそも、イエスは何のために弟子たちを呼び寄せたのでしょうか。今日の福音書の話と合わせて、マルコ3章13節以下の12使徒選びのできごとを見てみましょう。この個所で、イエスは「彼らを自分のそばに置くため、また、派遣して宣教させ、悪霊を追い出す権能を持たせるためであった」と書き記されています。明らかに、将来、弟子たちを宣教に派遣することが意図されています。そのために、イエスは何をしたのかといえば、彼らと生活をともにしたのです。ご自分の生き方を、生きるさまを見せて、ご自分と一つになることを願っていたのです。現に、弟子たちへの「特別教育」がなされていきます。その典型的なのが、ご自分が話したたとえ話について、群衆が立ち去った後に、弟子たちに密かに説明をされるのです。

宣教はイエスを語ること、語っていますか
それは、宣教はイエスを語ることであって、自分たちの考えを語ることではないからです。だからこそ、イエスの神秘をとことん理解し、確信をもって語ることができるように準備しておくことは、当然求

められることでしょう。そのために、イエスとの日々はとても大事な一日一日になっていたのです。現代に生きるわたしたちはどうでしょう。イエスを語っているのでしょうか。イエスと生活をともにすることはできません。弟子たちのように、イエスより直接に教えを教示してもらうことはありません。「見ないで信じる者は幸い」な者の一人に、もっと確かな存在者になれるように、日々の人との出会い、また、日々捧げる祈りを通して、前に進ませていただきましょう。わたしたち一人ひとりを心にとめてくださっているからです。得てして、倫理的に走りがちな「わたし」、いとも簡単に他者を批判・非難している「わたし」に、ひょっとしてなっていないか、そのようでは、イエスが言う宣教には程遠い振る舞いになってしまうのでは、・・・。実際、一人でいるよりも誰かと一緒に何かをしている方が、自分の成長のためにもお互いのより良い前進のために力となります。一人ひとりが違うということはそのためにも貴重なものです。

2021年度第2回運営委員会 議事録

2021年7月10日(土)10:45～11:1300

議事録1. は、開催日時は表題のとおりです。議事録3. は出席者名で省略します。

3. 報 告

3. 1 新年度の役員（最終版）
- 主任 司 祭 ライヤ フランシス神父
- 修道者代表 Sr. 藤井 泰子
- 運営委員長 松岡 健一
- 副 委 員 長 竹原 徳男、高科美智子
- 監 事 竹川 亨、杉岡正敏
- 壮 年 部 (部長)竹原 徳男 (副部長)野呂 利一
- 女性部 (部長)香島のり子 (副部長)常松 靖子
- 青 年 部 (部長) (副部長)
- 財 務 委 員 (委員長)岩泉 盛典 (副委員長)宮坂千代子
- 典 礼 委 員 (委員長)高科 優 (副委員長)松坂屋弘子
- 事業奉仕委員 (委員長)松岡 博子 (副委員長)久下 總子
- 施 設 委 員 (委員長)山口 林蔵 (副委員長)儀福 範雄
- 広 報 委 員 (委員長)山田 淳 (副委員長)川村その美
- 総 務 委 員 松岡健一
- 地 区 委 員 (蘭岳)岩泉 盛典・(楽山)櫻庭 靖尚
- (太平洋)竹原 徳男・(白鳥)横田久美子
- 地区典礼委員 (蘭岳)岡本 眞美、Sr. 小野
- (楽山)杉岡 亜美、櫻庭 靖尚
- (太平洋)竹原 徳男、松阪谷博子
- (白鳥)横田久美子、松岡 博子

人間の弱さ足りなさを十分知ったうえでの派遣だったのでしょうか。一人では十分でなくても二人がいると、より前に進める動きができます。さらには、当時、重要なことがらについての証言は、二人以上の証人を必要としていたのです。このことは、イエス自身、弟子たちの働きを通して、ご自分の神秘を公にしていくことを意図していたことをも表します。弟子たちの仕事(奉仕)は、イエスの神秘の証人であるということです。今に生きるわたしたちは、直接イエスの教示を受けることはできません。しかし、イエスを「見ないで信じる人」になっている今、弟子たちと同じ歩みが求められていることは間違いないでしょう。イエスが旅のために必要なものまでも置いて行きなさいと言われるように、弟子たちの覚悟は命がけだったのです。だからこそ、華美な外見は宣教のために必要ないのです。一人ひとりが持っている個性を自らが十分知ったうえで、「百人百様」の聞き手に、「百人百様」のみことばの奉仕者が自然に準備されていきます。宣教は日常的な素朴な活動です。「私は私、人は人」されど、これらが一人称複数形「わたしたち」になることが、目指す宣教者の姿なのでは、・・・。

渡り廊下

聖堂とホール、司祭館とを繋ぐ渡り廊下、普段外側から見ることは滅多にないでしょうね、特に玄関側は、日当たりが悪く、緑の苔に覆われます。古い聖堂の時代から使われていて外壁も痛んできていました。この度、施設委員の山口さんが綺麗に塗り直しました。今度玄関階段を登るときちょっと顔を左に向けてみて下さいね。



3. 2 7、8月の予定
- 7 月
- 4日(日) 年間第十四主日 ミサ (太平洋・楽山地区参加)
- 10日(土) ミサ後 7 月運営委員会
- 11日(日) 年間第十五主日 集会祭儀 (太平洋・白鳥地区参加) 例会予定日
- 18日(日) 年間第十六主日 ミサ (白鳥・蘭岳地区参加) 室蘭ブロック会議 (伊達教会、13時30分)
- 25日(日) 年間第十七主日 集会祭儀 (蘭岳・楽山地区参加)
- 8 月
- 1日(日) 年間第十八主日 ミサ (楽山・蘭岳地区参加)
- 8日(日) 年間第十九主日 集会祭儀 (太平洋・白鳥地区参加) 例会予定日
- 9日(月) 共同墓参 (予定：14時望洋台霊園) 山の日
- 15日(日) 年間第二十主日 聖母の被昇天ミサ (白鳥・太平洋地区参加)
- 22日(日) 年間第二十一主日 集会祭儀 (楽山・蘭岳地区参加) 登別教会墓参
- 29日(日) 年間第二十二主日 ミサ (太平洋・楽山地区参加)
3. 3 財務報告 別添資料参照
- 月定献金が昨年より少ないのが気がかりだが、支出も少ないので、健全財政を確保している。月定献金は昨年度より予算も少なく計上している。

4. 議 事：

4.1 年度行事の分担について(再掲)

- 合同墓参(8月9日山の日?)典 礼
- 聖母の被昇天(8月15日)典 礼
- ザックバランの会(10月、2月)運営委員会
- 敬老の日(9月20日)祝 福
- バザー(9月26日)運営委員会
- レクリエーション(月 日)事業奉仕
- 神父様誕生茶話会(11月7日)女性部
- 七五三(11月 7日)女性部・典礼
- 文化祭(11月 日)事業奉仕
- 神父様霊名記念日(12月3日)女性部
- 待降節黙想会(月)事業奉仕
- 共同回心式(月)典 礼
- 降誕祭(12月24、25日)典礼, 壮年部, 女性部
- 新年会(1月 日)女性部
- 四旬節黙想会(3月)事業奉仕
- 共同回心式(3月)典 礼
- 聖週間の行事(4月10日～4月17日)典 礼
- 復活祭(4月16日、17日)壮年部, 女性部
- 教会総会(4月24日)運営委員会
- ブロック壮年大会(6月 日) 当番: ...壮年部(休止)
- 地区女性大会(9月 日 ?) 当番: ..女性部(休止)
- ブロック夏期学校(8月)担当者(休止)

こっとな倶楽部

7月10日と11日に行われたこっとな倶楽部のインテリアフェアです。面白いものがたくさんありました。



4.2 今年度のテーマ

「コロナ禍を生きる教会」
コロナ禍の中で教会は何ができるかを考える一年

4.3 合同パーティーについて

8月中の夕方、野外で実施できないか、検討するが時期早々との意見が多く見合わせる。

4.4 レクリエーション、4.5 文化祭、4.6 バザーについて

いずれも感染状況が不明なので、今年度の開催は無理と思われる。

4.7 共同墓参

室蘭教会との調整が必要ですが、8月8日か9日(山の日)はどうか

4.8 ブロック会議につい

7月18日午後1時30分から伊達教会で開催する。参加者は各教会1～2名。松岡委員長と竹原副委員長が出席する。協議事項については特にないが、ブロックの現況や苦小牧地区連絡会の開催時期、など情報交換する。

4.9 その他

8/15聖母被昇天の祝日のミサの参加
試みに全信徒参加として準備する。

5. 司祭の予定

- 5.1 ライヤ神父様の予定
- 司祭会議等あるが、オンラインが多く、在蘭が基本。
- 5.2 ミサ・集会祭儀の予定(未定: 当分休止)
- 7/4ライヤ師 7/11集会 7/18ライヤ師
- 7/25集会
- 8/1ライヤ師 8/8集会 8/15ライヤ師
- 8/22集会 8/29ライヤ師